

生きられるまち 鹿嶋』を目指して

基本目標 1 男女共同参画社会の実現を目指した意識づくり

重点目標1 男女共同参画に関する正しい理解と意識改革



一人ひとりが男女共同参画を正しく理解し、誰もが身近な自身の問題として関心を持ち、行動に移せるよう、普及・啓発と学習の充実を図ります。

〈施策の方向〉

- 男女共同参画の理解を深めるための広報・啓発
- メディアにおける男女の人権の尊重 など

重点目標2 男女共同参画を推進する教育・学習の充実



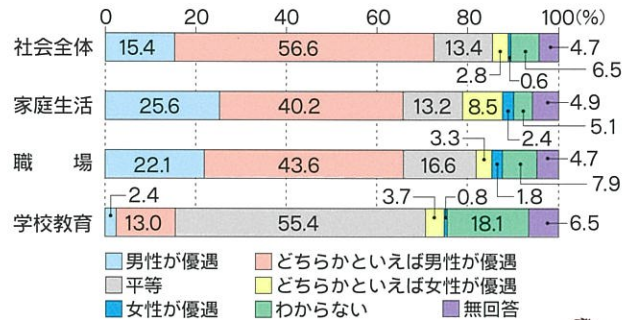
「男だから」「女だから」と制限されることなく、将来にわたって自立し、持てる能力や個性を活かし、自分らしい生き方が選択できるよう、家庭・地域・学校など、あらゆる場における教育や学習の充実を図ります。

〈施策の方向〉

- 家庭や地域における男女共同参画の視点に立った教育・学習の充実
- 学校における男女共同参画の視点に立った教育・学習の充実

あらゆる分野における男女の平等感

<2015(平成27)年市民意識調査>



「男らしさ」「女らしさ」はあっていいのでは？



男女共同参画は、「男らしさ」や「女らしさ」のすべてを否定しようとするものではない。「女だから」とか「男はこうあるべき」というように、性別で向き不向きを決めつけたり、一方的に責任を押しつけたりするのではなく、その人の持つ個性や能力など「その人らしさ」を大切にしようとするものよ。



基本目標 2 あらゆる分野において誰もが平等に自分らしく生きられる社会づくり

重点目標1 働く場における女性の社会参画への支援



職域や採用、登用などにおける実質的な男女間の格差を解消し、女性が社会参画できる環境の整備を図るとともに、女性自身が自らの能力を伸ばし、個性を生かし、主体的に社会参画していくための学習の機会を提供するなど、総合的な支援を充実します。

〈施策の方向〉

- 積極的改善措置(ポジティブ・アクション)の推進に向けた働きかけ
- 働く女性、働きたい女性に対する支援 など

重点目標2 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進



誰もが、働き方や暮らし方を見直し、社会の一員として、ともに責任を分かち合いながら、仕事や家庭生活、地域活動や自己実現など、自分の希望するライフスタイルを選択し、将来にわたって生きがいを持って生活できるよう、ワーク・ライフ・バランスについての意識啓発を促進します。

〈施策の方向〉

- ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた意識啓発
- 多様なライフスタイルに対応した子育て支援の充実
- 家庭生活における男女共同参画の推進 など

男女共同参画は女性のためのもの？



男女共同参画は、あらゆる場で女性の地位や立場が低くみられることが多いことや働く環境や条件が悪かったりしたことからそれらを解消しようとするところからスタートになっている。でも、男女共同参画は、男性のためのものでもあるし、結婚している人もしていない人も、若いひとも年配の人もみんなにとって自分らしく伸びやかに暮らしやすい社会を実現していくことなの。

例えば、今の職場環境は、長時間労働が問題となっているわ。それは、女性の社会参画を妨げるものだけれど、男性自身にも、家庭や余暇の時間を犠牲にして、身体や心に大きな負担を与えているわ。それらを解消しようとするのも男女共同参画の取組のひとつなの。



仕事と家庭生活、地域活動・個人の生活の優先度

<2015(平成27)年市民意識調査>

